

2018年10月10日

大分スポーツ公園内施設のネーミングライツ取得について

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、大分スポーツ公園内の施設について、下記の内容にて、大分県よりネーミングライツ（命名権）を取得しましたのでお知らせいたします。

記

1. 命名権取得の内容

(1) 対象施設

【施設の名称】	【愛称】
① 総合競技場	「昭和電工ドーム大分」
② テニスコート	「昭和電工テニスコート」
③ サブ競技場	「昭和電工グラウンド」
④ サッカー・ラグビー場	「昭和電工サッカー・ラグビー場」
⑤ 野球場	「昭和電工スタジアム」
⑥ 投てき場	「昭和電工フィールド」
⑦ 武道スポーツセンター	「昭和電工武道スポーツセンター」

(2) 期間 2019年3月1日～2024年2月29日（5年間）

(3) 命名権料 年額 5,000 万円（税別）

2. 命名権取得の目的

当社グループは、全てのステークホルダーに貢献する「社会貢献企業」の実現を目指し、CSR（企業の社会的責任）を果たすべくさまざまな取り組みを進めています。国内の各拠点では、子ども向けの化学実験教室や工場見学などを通じて、地域社会との対話を進めております。また、当社グループの中核事業の一つである大分石油化学コンビナートは、1969年のエチレンプラント操業開始以来、50年もの長きに亘り、地域社会との共存共栄を図ってきました。

大分スポーツ公園総合競技場などの施設は、大分石油化学コンビナートが立地する大分県の代表的な施設であり、サッカーJリーグや各種スポーツ大会等に広く活用されています。大分スポーツ公園内の各施設に当社名を付与し、また命名権料の一部が地域貢献・スポーツ振興事業（パートナーシップ事業）に充当されることを通じて、同県のスポーツ振興への寄与と地域社会への貢献を果たし、当社のCSR活動のさらなる向上が図れることから、今般命名権を取得することとしました。

以上

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235



【大分スポーツ公園】



※ 写真中央が総合競技場

